

◆□◆◆□ 群馬産業保健総合支援センター メルマガ第 198 号 ◆□◆◆□

□◆□◆□ ホームページ <http://www.gunmas.johas.go.jp/>

□◆□◆□

令和 4 年 2 月 7 日 発信



このメールマガジンは群馬産業保健総合支援センターのホームページに掲載された新着情報やその他の産業保健情報について配信しています。

目 次

1. 産業保健セミナー(2～3 月)について
2. 1 月のセミナー結果
3. 関係機関の動き
4. センターからのお知らせ
 - ① ストレスチェック制度の導入をサポートします
 - ② メンタルヘルス対策支援をご利用下さい
 - ③ 治療と職業生活の両立支援事業をご利用下さい
5. 独立行政法人労働者健康安全機構 本部からのお知らせ
「働くあなたの健康と安全のために」のご案内

認定産業医研修・産業保健セミナー(2～3 月)について

当センター開催の認定産業医研修・産業保健セミナー(2～3 月)を掲載します。

お申し込み・詳細につきましては、ホームページをご覧ください

<http://www.gunmas.johas.go.jp/seminar/index.html>

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、事前にお申し込みのない方の受講はできません。必ず申し込みをして下さい。
- ・規模を縮小して実施している為、当面の間、県外にお勤めの方の受講はご遠慮下さい。
- ・緊急事態宣言が発出された場合は、研修・セミナーは、全て中止させていただきますのでご理解の程よろしくお願い致します。その場合には、ホームページ、FAX またはメールにてお知らせ致します。

日 程	テーマ	開催場所
-----	-----	------

☆認定産業医研修 ※ <u>日本医師会認定産業医以外の方の受講はご遠慮願います。</u>		
2月9日(水)	『 職場でできる、体操・筋力運動・ストレッチで腰痛予防対策 』	群馬メディカル センター
2月10日(木)	『 特定化学物質障害予防規則の改正について ～溶接ヒュームの対応等～ 』 *すでに定員となりました。	前橋テルサ
2月17日(木)	『 セルフケア研修～マインドフルネスを体験しよう～ 』 *すでに定員となりました。	群馬メディカル センター
2月21日(月)	『 職域における発達障害 ～大人の発達障害をどう考えたらよいか～ 』 *すでに定員となりました。	群馬メディカル センター
3月9日(水)	『 脳・心臓疾患の労災認定基準の改正について 』 *すでに定員となりました。	前橋テルサ
☆産業保健セミナー ※ <u>日本医師会認定産業医更新の単位取得のセミナーではありません。</u>		
2月9日(水)	『 職場でできる、体操・筋力運動・ストレッチで腰痛予防対策 』	群馬メディカル センター
2月10日(木)	『 特定化学物質障害予防規則の改正について ～溶接ヒュームの対応等～ 』 *すでに定員となりました。	前橋テルサ
2月17日(木)	『 セルフケア研修～マインドフルネスを体験しよう～ 』 *すでに定員となりました。	群馬メディカル センター
2月21日(月)	『 職域における発達障害 ～大人の発達障害をどう考えたらよいか～ 』 *すでに定員となりました。	群馬メディカル センター
3月9日(水)	『 脳・心臓疾患の労災認定基準の改正について 』 *すでに定員となりました。	前橋テルサ

されました。

本研修では、改正内容や事業場がTHP指針に基づく活動に取り組む際の参考となるような内容についてお話しいたしました。

参加者からは、

「少し知識が増えた」「令和2年、令和3年度の改正について大変分かり易く、自分なりにまた勉強したいと思った」

等の意見を得ました。



テ ー マ : 『不妊治療と仕事の両立支援』

開催日時 : 1月21日(金)14:00~16:00

会 場 : 群馬メディカルセンター 2階大会議室

講 師 : 北原 慈和 氏(群馬大学大学院 医学系研究科 産科婦人科学講座 講師)

参 加 者 : 24名

内 容 : 不妊治療は、年齢が若いうちに治療を開始する方が望ましく働く世代の問題です。「通院が何度も必要になる」、「通院日を自分の都合で選択できない」ことに特性があり、働く人が不妊治療を続けていくためには、会社や周囲の人たちの理解や支援が重要です。

本研修では、不妊治療とは具体的にどのようなものか、また仕事と両立するために患者さんはどのような問題や不安を抱えているのか、実際に不妊治療に携わる産婦人科医からお話しいたしました。

参加者からは、

「不妊治療に関して多少分かっていると思っていたが、実際は知識不足だった。妊孕性(にんようせい)温存に関しても勉強になった」「就業規則に治療による休暇について記載されているか確認する事や環境整備が必要な事が分かった」「不妊症の原因や不妊治療などが分かった」「日本における不妊治療の現状を知る事ができた」「不妊治療についてとても分かり易く説明して頂いた。生理学的なエストロゲンについての話があり大変勉強になった。明瞭な説明だった」「不妊治療に期間を要する理由を情報提供し理解を高める事が必要と思った」「具体的にどの位通院すれば良いのかなど分かり易かった。不妊治療はお金、時間がかかるけれど、人生を大きく左右するので保険の適用(特に回数制限)をもっと広げてほしいと思った」「妊孕性という言葉・意味・漢字を初めて知った」

等の意見を得ました。



テ ー マ : 『じん肺について』

開催日時 : 1月25日(木)14:00~16:00

開催会場 : 前橋テルサ 9階つつじ

講 師 : 水橋 啓一 氏(富山労災病院 アスベスト疾患 ブロックセンター長)

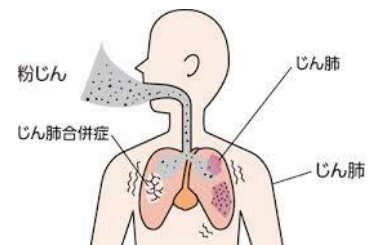
: 横山 多佳子 氏(旭労災病院 呼吸器内科部長)

: 大塚 義紀 氏(北海道中央労災病院 院長)

参 加 者 : 18名

内 容 : じん肺症にかかる適切な診断技術の向上を図る事を目的とします。「じん肺症の概要」「じん肺症に伴う合併症」「大陰影と肺癌の鑑別およびじん肺に伴う間質性肺炎の検討」についてお話しいたしました。

参加者からは、



「じん肺について知識が無かったので勉強になった」
等の意見を頂きました。

◎産業保健セミナー

テーマ：『【Web 開催】治療と仕事の両立支援に役立つ基礎知識～労働者のセルフケア向上について～』

開催日時：1月26日(水)14:00～16:00

講師：小笠原 映子 相談員(群馬産業保健総合支援センター カウンセリング・保健指導担当)

参加者：15名

内容：「治療と仕事の両立支援」において、職場の環境整備とともに欠かすことができないのが労働者自身のセルフケアです。しかし、疾病に対する労働者自身の不十分な理解が、病状の悪化や疾病の再発につながることも少なくありません。長く付き合う慢性疾患については、不健康な生活習慣に「気づく」こと、健康的な習慣に「行動を変える」という「セルフケア」が重要です。

本研修では「セルフケア」のサポート方法についてお話いただきました。

参加者からは、

「両立支援がまだ不十分である為参考になった」「ストレス反応の出方について具体的な例を知る事ができ、現在抱えている対象者のストレス反応からどのような点に問題があるか理解する為のヒントになった気がする」「基礎知識として知っておく事が大事だと思った」「両立支援の制度が整ったとしても、本人にとって実際に活用しやすいかどうかを考える時、労働者自身のセルフケア向上の視点はとても大事だと思う。事業所外の医療専門職の立場からサポートできることを考え復習したい。二階建て支援のお話と“何かあったら連絡してください！”のスライドはとても分かり易かった。関係職種との連携は大事だと思った」「患者さんは、ショック期・否認期・混乱期・解決への努力期・受容期と段階を経て前向きになっていく事を、患者を支える支援者、特に家族が知っておく事が大事だと思った。特に否認期・混乱期がある事を知っておくのは重要だと思った」「セルフケアの重要性、その根拠、またその支援について勉強になった」「復職支援を行う際に目標を聞く機会が無かったので、今後は復職後に本人がどんな目標をもって復職するのか共有し(できる状態だったらが)、目標が達成できるよう一緒に考えながら支援したいと思う」「たくさん資料を用意して頂きありがたい。とても分かり易くまとめているので今後も資料を見て勉強していきたいと思う。コロナ禍で普通に生活をしていてもストレスがたまりやすいのでマインドフルネス等を活用したい」「社員のセルフケア能力を高める支援を普段からしておけると良いと思った」等の意見を頂きました。



関係機関の動き

1. 人材確保等支援助成金(テレワークコース)のご案内について(厚労省)

<https://www.mhlw.go.jp/content/11600000/000766164.pdf>

2. 新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応助成金について(厚労省)
<https://www.mhlw.go.jp/content/000870927.pdf>
3. 「業務改善助成金特例コース」のご案内について～新型コロナウイルス感染症の影響で、特に業況が厳しい中小企業事業者を支援する助成金がありました～(厚労省)
<https://www.mhlw.go.jp/content/11200000/000868941.pdf>
4. 第9次粉じん障害防止総合対策の推進に係る講習動画配信について(厚労省)
<https://www.jinpai.mhlw.go.jp/>
5. 「【オンライン開催】令和3年度『職場のメンタルヘルスシンポジウム～職場復帰支援の実践 企業や精神科医の取組事例から～』」の開催について(厚労省)
https://kokoro.mhlw.go.jp/mental_sympo/2021/
6. 「【オンライン開催】化学物質のリスクアセスメント支援ツールに関する実践セミナー」の開催について(厚労省)
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000113892_00005.html
7. 「職場における化学物質のリスクアセスメントに関するアンケート」～アンケートへのご協力をお願い～について(厚労省)
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000113892_00004.html
8. 「事業場における労働者の健康保持増進のための指針の一部を改正する件」について(群馬労働局)
<https://www.gunmas.johas.go.jp/topic/img/359-0.pdf>



センターからのお知らせ

- ① ストレスチェック制度の導入をサポートします
- ② メンタルヘルス対策支援をご利用下さい
- ③ 治療と仕事の両立支援事業をご利用下さい



- ① ストレスチェック制度の導入をサポートします

平成27年12月1日から施行されました「ストレスチェック制度」について、当センターでは、研修会の他下記の支援を行っています。

☆実施方法などについて質問したい 「ストレスチェック制度サポートダイヤル」

電話相談窓口を開設しています。

電話番号: 全国統一ナビダイヤル 0570-031050 ※通話料金がかかります。

開設時間: 平日 10時～17時

☆直接会社に来て助言してほしい 「個別訪問支援」

メンタルヘルス対策の専門家が、直接事業場を訪問して、ストレスチェック制度の導入について、各事業場の状況にあった具体的なアドバイスをします。(無料)

※申込は当センターホームページの「メンタルヘルス対策」からお願い致します。

<http://www.gunmas.johas.go.jp/mental/index.html>

② メンタルヘルス対策支援をご利用下さい

平成 28 年度から、従来の「管理監督者向けのメンタルヘルス教育研修」に加えて、新入社員をはじめ入社 2～3 年目の「若年者向けのメンタルヘルス教育研修」が始まりました。

管理監督者対象と同様、年 1 回無料でご利用いただけます。メンタルヘルス対策として、春に若手社員向け研修を、秋に管理監督者向け研修を計画すれば、年 2 回無料でご利用可能です。

その他、メンタルヘルス対策個別訪問支援では、専門スタッフが無料で事業場まで出向いてメンタルヘルス対策の体制づくり(心の健康づくり計画や就業規則、職場復帰プログラムの作成など)のお手伝いを致します。

※申込は当センターホームページの「メンタルヘルス対策」からお願い致します。

<http://www.gunmas.johas.go.jp/mental/index.html>

③ 治療と仕事の両立支援事業をご利用下さい

がん対策基本法が改正され、第 8 条に(事業主の責務)として、「事業主は、がん患者の雇用の継続等に配慮するよう努めるとともに、国及び地方公共団体が講ずるがん対策に協力するよう努めるものとする。」と新設、事業場にはがん等に罹患しても安心して働き続けられる職場、安全に働く事ができる職場を作るために積極的な取り組みが求められています。

また、平成 28 年 2 月には厚労省により「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」が作成されました。

当センターでは、ガイドライン等の周知に取り組むとともに、各事業場に対して以下の支援を実施いたします。

☆個別訪問支援

両立支援促進員が職場を訪問し、導入を進めるための相談、事業場における体制づくり・規定や制度づくりへの助言(柔軟な年休制度、病気休暇制度等)など両立支援を進めるにあたっての枠組み作りをお手伝いします。(無料)

☆管理監督者・労働者教育

両立支援促進員が職場を訪問し、管理監督者や働く人に対する治療と職業生活の両立への理解を促す教育を実施すると共に、「患者(労働者)と事業場との個別調整の支援」を行っています。

※申込は当センターホームページの「治療と仕事の両立支援」からお願い致します。

<http://www.gunmas.johas.go.jp/ryouritsushien/index.html>

独立行政法人労働者健康安全機構 本部からのお知らせ

「働くあなたの健康と安全のために」のご案内！

機構本部では、職域における労働者の健康と安全の為に様々な情報を提供しています。

<https://www.johas.go.jp/>

① 産保センターWeb ひろば

産業保健総合支援センター(さんぽセンター)、地域産業保健センター(地さんぽ)で行なっている詳し

<https://www.gunmas.johas.go.jp/mailmag/>

<<このメールマガジンへのご意見・ご要望はこちらから>>

info@gunmas.johas.go.jp

=====

《発行元》群馬産業保健総合支援センター

電話:027-233-0026 FAX:027-233-9966